

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
「まなび力」の視点から
基礎・基本の定着
生徒主体の活動を多く取り入れた「学びの質」の向上
家庭学習の充実
「しくさ力」の視点から
やるべきことをいつでもどこでも発揮できる「本物の力」の育成
普段の生活(基本的生活習慣)の充実

2 学校教育目標
夢に向かう颯爽とした生徒の育成
～「嬉中まなび力」「嬉中しくさ力」「嬉中きずな力」～

3 本年度の重点目標
1 学力の向上... 「小中連携による学力向上推進地域指定事業」を活用した学力向上対策(西部型授業の徹底、学習規律・家庭学習の定着)
2 たくましさと自信の育成... 家庭や地域連携を強化した、指導・評価・支援(基本的生活習慣の定着、不登校支援)
3 人権意識の向上... 様々な価値観や違いを認め合う人間関係作り(人権・同和教育、道徳、学活等)
4 ICT活用教育の推進

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
表: 評価項目(学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進) vs 重点取組内容 vs 成果指標(数値目標) vs 具体的取組 vs 中間評価(進捗度, 進捗状況と見通し) vs 最終評価(達成度, 実施結果) vs 学校関係者評価(評価, 意見や提言) vs 主な担当者

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

表: 評価項目(特別支援教育の充実, キャリア教育の充実) vs 重点取組内容 vs 成果指標(数値目標) vs 具体的取組 vs 中間評価(進捗度, 進捗状況と見通し) vs 最終評価(達成度, 実施結果) vs 学校関係者評価(評価, 意見や提言) vs 主な担当者

●...果共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
・学力向上では、西部型授業が定着し、さらに課題解決に向け意図的・計画的に「書く活動」「話し合う活動」等を仕組んだ結果、思考力・判断力・表現力が向上した。家庭学習習慣の定着にまだ課題があり、取組を強化する必要がある。
・不登校対策では、家庭や関係職員、関係機関との連携を密にとり、誰か・どこかつながりをもつことで学校との関係を保持し、その結果不登校を改善することができた。情報の引継ぎを丁寧に行い、継続して支援を行う必要がある。
・いじめ対策では、観察やアンケート等で覚知したあとの対応を、迅速かつ丁寧に行うことができた。SNS上でのいじめやコロナいじめなど様々ないじめ問題への対応が必要だが、今後は特にSNSを介したいじめの予防に力を注ぐ必要がある。
・ICT活用教育では、授業やオンライン学習でのタブレット端末の活用を進めることができた。しかし、ネットワーク環境に課題があり、授業での活用が大きくは進まなかった。今後は多方面に働きかけ、ネットワーク環境の改善をする必要がある。